

ご存じですか？ 町の新しい宝箱 —文化財収蔵庫—

縄文時代をはじめとした遺跡が数多く眠る、御代田町。長い歴史が育んだ文化財を守るため、新たに「収蔵庫」が整備され、今年5月には初めての一般開放を実施。参加者は「町の宝物」に実際に触れ、歴史に思いを馳せました。今回、収蔵庫の役割と文化財の魅力について、ご紹介します。



収蔵庫マップ

その他資料



民俗文化財

農具や生活道具など、昔の人々の暮らしが分かるもの



埋蔵文化財

土器や石器など、地中から発見された遺物等



入口

収蔵庫って

何のための施設？

収蔵庫とは、町の貴重な文化財を安全に保管・管理するための専用施設です。町ではこれまで、文化財を町内数カ所に分散して保管しており、管理が難しいとともに保管スペースにも限界がある状態が続いていました。今回、文化財収蔵庫を新たに整備したことで、分散していたものを一元化して保管・管理できるようになり、町民の皆さまにもご

覧いただける機会を設けられるようになりました。現在収蔵庫には、町内出土の埋蔵文化財、民俗文化財、その他町の歴史に関わる資料など、合計千点以上の貴重な物品が収蔵されています。文化財のなかには一部非公開となっているものもありますが、いずれも御代田町の歴史を知る上でとても重要な資料です。

5月に開催された初の一般開放の日の様子。町の歴史に触れる参加者の目は真剣です。



みよた広報 やまゆり 2026年8月号 (2)

職員に聞く 御代田町の歴史

―普段の仕事について―

浅間縄文ミュージアムの運営から、町内の文化財保護に関すること、また遺跡の発掘調査や、出土品の整理作業にも関わっています。掘り出したあとの整理・保存、そして次の世代へ伝えるところまでが、私の大切な仕事です。

―御代田町の歴史―

御代田町は縄文時代から人が住み始め、文化が花開いたことが分かっています。その理由としては大きく2つあります。ひとつは活火山・浅間山の麓にあること。噴火でできた広大な裾野は、縄文時代は豊かな森でした。イノシシなどの

―文化財を守る意味―

文化財を守り伝えていくことで、未来の人たちに「この土地がどういう場所か、人々がどのように暮らしてきたか」を知ってもらうことができます。さらに、そこから「未来の御代田町をどんな町にしていきたいか」を考える上での重要なヒントにもなるのです。

古いものは「もう必要ない」と思われがちですが、昔どうやって暮らしてきたかという経験は、これからの町づくりに活かせる大切なデータです。過去を大切にすることで、未来を作り出すために必要なものを次の世代へ伝えていくことが、私たちの仕事だと考えています。

今回収蔵庫ができ、資料を一括して保存・紹介できる基盤が整いました。まだ整理作業は続きますが、これから少しずつ、町の歴史をお届けできればと思います。

―文化財の魅力―

例えば縄文土器には、実はたくさんの

―町民の皆さんへ―

これまでお見せする機会がなかった資料を、ご紹介できるようにしました。ぜひ開放日に足を運んでいただき、御代田町の歴史を知ってもらえたら嬉しいです。

職員おすすめ文化財紹介



りゅうとすい
龍吐水

江戸時代から明治10年代にかけて利用されたポンプ式の消火道具。写真の龍吐水は、馬瀬口地区で利用されたもので、明治17年(1884年)12月に製作されました。

この龍吐水は、文化財収蔵庫に所蔵している中では、最も古い消防器具になります。この資料は、現在の消防署や消防団に繋がっていく貴重な文化財です。



きょうせき
経石

藤塚遺跡出土の経石。経石は、仏教の経典にある字句を書写した河原石で、藤塚に多数埋納したものです。藤塚遺跡出土の経石は、詳細な時期は不明であるが近世以降のものであると考えられます。その一文字、一文字にこの地にくらした昔の人々の祈りや思いが込められています。どのような願いを込めたのか考えるのも歴史のロマンです。

次回一般開放日

11月3日(火・祝)(予定)

詳細はあらためてお知らせします。

※収蔵庫は常時開放はしていません。

文化財収蔵庫に関する内容は、浅間縄文ミュージアムまでご連絡ください。

問い合わせ

浅間縄文ミュージアム(32)8922